

## 部の概要

情報技術部の使命は、放影研の研究および研究関連活動を円滑に遂行するための情報基盤の整備を行い、各種情報サービスを提供することである。具体的には、放影研の所内ネットワークの整備、データベースや関連アプリケーションの開発に加え、これらのサービスを運用するための各種ハードウェア機器の運用・保守などを担当している。放影研は AHS および F1 研究コホート等、多くの疫学調査から得られた膨大なデータを保有している。情報技術部は、このような大規模データを効率よく利用することができるデータベースの構築やデータ活用のためのアプリケーションを開発することによって、データの信頼性と可用性の向上に貢献してきた。また、これらのデータの安全性を確保することは、研究の効率化に寄与するだけでなく、被爆者の機密情報を外部の脅威から保護することにも貢献している。

2020 年 4 月に 2 名の職員を新規採用し、同年 6 月に小野博士が部長に就任した。ITD 前部長の具体的な専門分野は医療科学だったが、新部長は情報科学分野の専門家であり、所内の更なる情報化が期待される。これらの新人事により、情報技術部には 16 名が在籍することとなった。情報技術部は「システム技術課」と「図書資料課」の 2 つの課から構成されている。システム技術課は、上述の情報システム関連の業務を担当する。図書資料課は、放影研の書籍、発表論文、歴史的資料などの収蔵品を管理し、これらの資産を恒久的に保存するプロジェクトにも着手している。

## 2020 年度業績

### 1. 基幹スイッチの交換

放影研のネットワークで中心的な役割を果たしている基幹スイッチが老朽化したため、交換した。前機種と同等の性能で、より小型かつエネルギー効率の良い機器を選定した。

### 2. Microsoft Office Suite のアップグレード

MS Office 2010 のサポート終了に伴い、放影研の全職員を対象に、現行バージョンを Microsoft 365 にアップグレードした。新バージョンはサブスクリプション契約により提供されるため、常に Office Suite の最新機能の提供が受けられる。同時に、各研究員が 1TB のパブリッククラウドストレージを利用できるようになった。

### 3. 現行のセキュリティ・ファイアウォール・アプライアンスの交換

旧モデルのサポート終了に伴い、ファイアウォール・アプライアンスを更新した。従来はネットワークの各層を守るために複数の機器を使用していたが、今回の更新により 1 台でネットワークの全ての層を保護できるようになった。

### 4. エッジスイッチの交換（広島研究所）

広島研究所の各棟に設置されているエッジスイッチが老朽化したため、新しいスイッチ

- 
- に交換した。
5. VPN ルーターの交換  
(緊急時対応を含む) 運用・保守のため、外部から安全にアクセスできる VPN ルーターに交換した。
  6. 現行のサーバラック用電力配分装置の定期交換  
老朽化したサーバラック用電力配分装置 (PDU) の交換を行った。
  7. 入退室管理システムのサーバの交換  
古い入退室管理システムのサーバを新モデルと交換した。別途調達している勤怠管理システムで使用する IC カードと連携させ、研究所内の物理認証インフラを統合する予定である。
  8. 職員用 PC の交換 (45 台)  
職員用 PC を定期交換するために一括購入した。作業効率の向上と機器の保全性を考慮し、内部ストレージに SSD を採用した省スペースモデルを選択した。
  9. 職員用液晶モニターの交換 (15 台)  
放影研職員が使用する液晶モニターを定期交換するために一括購入した。旧モニターよりも広角のモニターを採用することで、作業効率が向上した。
  10. 貸出用ノート PC の交換 (5 台)  
定期交換のため、各部署に貸与するノート PC を一括購入した。
  11. 広島・長崎間のアクセスルーターの交換  
広島研究所と長崎研究所を結ぶ既存のルーターが老朽化したため、新しいルーターに交換した。
  12. 仮想サーバとストレージの交換  
老朽化した物理サーバと仮想サーバプラットフォーム用のストレージ機器を交換した。
  13. 外部からのリモート接続環境の構築  
コロナウイルス感染対策のため、在宅勤務者が外部から職場の PC にリモートアクセスできる環境を構築した。
  14. 無停電電源装置 (UPS) のバッテリー交換  
広島研究所のサーバールームに設置されている無停電電源装置 (UPS) のバッテリーが経年劣化したため、予防的措置として交換した。